

# 西中の風

伊丹市立西中学校長  
大西 規之

## 学校を綺麗に

5月も半ばになり、少しずつ初夏の兆しが見えてきました。1年生は本格的に部活動も始まりましたが、少しは学校に慣れたのでしょうか。2、3年生は新しいクラスにも慣れ、勉強に部活動に、そして、大きな行事に向けて目的意識を持って頑張り始めたのではないのでしょうか。

さて、昨年(2018年)の12月にとった生徒対象学校評価アンケートにおいて、「学校を学習の場として、清潔で美しくするために丁寧に掃除ができた」という質問項目に対する肯定的な回答が前年度同時期と比較すると2.5ポイント減少しました。そこで、4月の終わりに先生方も「掃除」に関する研修会を開催して、掃除の持つ意義や効率的に綺麗に掃除をする方法などについて勉強をしました。また、現在掃除用具をそろえたり、手洗い場の掃除用具を収納するケースを買ったりしています。また、掃除の仕方についてルールを決め、各掃除場所の担当メンバーの名簿を貼るなどの取り組みも今後する予定です。

次に紹介するのは、研修会で講師の先生からいただいた資料からの抜粋です。よく読んでもらい、各自、掃除に対する心構えをしっかりと持ってください。頑張って掃除をして学校を綺麗にすると色々なことがあるようです。

## 常に一流たるを目指そう！

「一番」は一人しかありませんが、「一流」はみんながなれます。「一番」が「一流」であるとは限りません。「一流」という定義はいろいろありますが、共通して言えることは「一流とは、その人の心のあり方が、その人の行動が、「一流」であるということではないのでしょうか。まずは、「掃除」についてみんなで「一流」を目指しましょう。

## なぜ、掃除が大切なのか？

- ①人はいつも見ているものに、心が似てくる。
- ②真剣に掃除をするとみんなの心が落ち着く。
- ③真剣に掃除をした場所は使う人の心も落ち着かせる。
- ④自分のためだけでなく、みんなのために汗を流せるようになる。
- ⑤掃除をしている姿が、その人の心の状態をあらわす。

## 掃除の時に徹底してほしいこと

- ①始めに遅れず、時間いっぱい協力する。  
＝心構え一つで動きが変わる。
- ②無言清掃＝自分自身と向き合う。

- ③隅々まで行き届いている。  
＝横着してしまう自分に克つ。
- ④掃除道具を次使いやすいように片付ける。  
＝道具を大切にできる人は人も大切にできる。
- ⑤見えないところ、見られていないところを真剣に。  
＝心の軸がぶれなくなる。

## なぜ、毎日掃除をするのか

「知っている」と、「できる」ことは違います。「できる」と、「身につける」ことも違います。身につけてこそ「ほんもの」といえます。そのためには続けることしかありません。「ほんもの」は続く、続けると「ほんもの」になる。このようなとらえ方で、勉強も部活動もそして生き方にも深さができるのかもしれない。

「知る」(知識) → 「実践する」(行動) → 「身につける」(継続)

## 掃除の習慣を定着させるには

(「仕事の作法」 鍵山秀三郎著 PHP研究所より)

- ①掃除道具は、必要なものを全てきちんと揃える。  
掃除を継続するためには、まず、きちんとした道具を揃えることが何よりも優先すべき大事なことです。
- ②掃除道具置き場の定位置を決める。  
必要なものがひと目で「誰でもわかる」「誰でも使える」「誰でもすぐ戻せる」仕組みにすることです。
- ③工夫しながら掃除する。  
掃除が続かない大きな原因の一つに、工夫がなされていないということがあります。掃除を継続するためには、たえず工夫・改善して進歩させることです。その上で、コツコツ努力することです。少しでも進歩すれば、楽しくなります。楽しくなると続けたくくなります。進歩が目に見えないことはなかなか続かないものです。

掃除を通して学校を綺麗にすることはもちろん、「自分みがき」「心みがき」をしましょう。きっと自分を成長させると思っています。



日々ホームページ更新  
中！！